

Q&A 論文及び論説の投稿について

Q1 投稿論文・論説の字数はどのようにカウントすればよいでしょうか？

A MS Word の文字カウントで「テキストボックス、脚注、文末脚注を含める」にチェックをし、文字数（スペースを含めない）に記載された字数を基準としています。なお、執筆要領（投稿規程2）に掲げる字数は、執筆言語が日本語の場合における文字（漢字、平仮名、片仮名、句読点、数字、記号、アルファベット等）の数をいうものであり、単語の数ではありません。（執筆言語が英語の場合には、字数の上限ではなく、ワード数の上限が適用されます。ただし、執筆言語と字数又はワード数の上限との関係については、Q2 に対する A を参照してください。）

Q2 和文の論文・論説の中に英文、英単語が混じっていますが、どのようにカウントしますか？

A 執筆言語は、原稿中の個々の字句又は文ではなく、「論文」「論説」という単位で「日本語」「英語」のいずれか一方に区分されます。Q1 の A で示したカウント方法により、「日本語」の場合は論文 20,000 字、論説 12,000 字まで、「英語」の場合は、論文 7500 ワード、論説 4,500 ワードまでに収めてください。「英語」は単語数でのカウントとなります。

Q3 投稿規程には「本文、図表、注記、参考文献を含めて、論文は 20,000 字・・・」とありますが、図表はどのように字数換算すればよいでしょうか？

A 図表は学会誌の刷り上がりイメージで原稿字数に換算します。例えば、1/6 ページの大きさの図なら 299 字（23 字×13 行）、1/2 ページの図なら 966 字（23 字×21 行×2 段）に相当すると考えられます。学会誌論文等の掲載例を見ながら、どのくらいの大ききで表示するのが良いか検討してください。

Q4 査読にはどのくらい時間がかかりますか？

A 論文・論説によって異なりますが、査読には 2 か月～2 か月半の時間をいただいています。2 か月半を過ぎても連絡がない場合は学会事務局へお問い合わせください。査読結果はパスワードを付した PDF ファイルにして、メール添付でお知らせします。投稿票には、

メールアドレスを明記ください。なお、郵送を希望される場合は、事務局にその旨ご連絡ください。

Q5 「再提出再審査」の判定をもらいました。提出締め切りはありますか？

A 特に提出締め切りは設けていませんが、新規投稿と同様に各号の締め切り日に合わせて提出ください。早く提出したから早く査読が終わるというわけではありません。

Q6 「論文」で投稿しましたが、「論説として条件付き採録」の判定となりました。字数も減らす必要があるのでしょうか？

A 投稿規程には「論文 20,000 字（英文は 7,500 ワード）、論説 12,000 字（英文は 4,500 ワード）までとする。」となっていますので、論説として提出する場合は、12,000 字（英文は 4,500 ワード）までに字数を削る必要があります。

Q7 「論文」で投稿しましたが、「論説として条件付き採録」の判定となりましたが、どうしても「論文」で投稿したいのですが、再投稿はできますか？

A 再投稿は可能です。判定にある指摘に沿って十分な修正を加え、修正履歴を付けて再投稿ください。

Q8 査読の結果として加筆するよう求められました。査読の結果に従って加筆した原稿の字数（執筆言語が英語である場合にはワード数）は、投稿要領に定める上限を超えてもよいのですか？

A 査読の結果に従って加筆した原稿の字数（執筆言語が英語である場合にはワード数）についても、投稿規程に定める上限が適用されます。査読の結果に従って加筆する場合には、必要に応じて他の箇所の記述を整理するなどして、字数（執筆言語が英語である場合にはワード数）が投稿規程に定める上限の範囲内に収まるようにしてください。

Q9 学会誌に掲載可となりました。校正の段階でどの程度修正ができますか？

A 字句の間違いや記入間違いなど最小限の修正としてください。大きく修正を加えることは許されません。修正後の字数（執筆言語が英語である場合にはワード数）の上限を超えることは、認められません。

Q 10 同時に2本の論文を投稿することは可能でしょうか？

A 同一締め切りに対する投稿本数はひとり1本です。同一号には同一執筆者（共同執筆の場合は筆頭執筆者）の論文または論説の掲載もひとり1本となります。

Q 11 学会大会の個人研究発表で発表したテーマを論文にしました。当日の討論者に査読をお願いしたいと思いますが、希望を出すことは可能でしょうか？

A 査読は複数の査読者によりブラインドで行われます。査読者の希望は受け付けていません。

Q 12 投稿論文は修士論文を加筆・修正したものです。二重投稿とみなされますか？

A 大学の学士論文・修士論文・博士論文等を翻訳・加筆した形で投稿する場合であって、それらを参考文献に示した上で、それらと投稿論文中の個々の記述との関係が引用又は参照に係る公正な慣行に照らして適正かつ明確に説明してある場合は投稿可能です。

Q 13 他団体に投稿した論文ですが、まだ採択は決まっています。この論文を投稿できますか？

A それは二重投稿になりますので、投稿は受け付けられません。二重投稿に関する例示が学会ホームページに掲載されていますので、参考にしてください。

Q 14 学会誌に掲載された論文を大学リポジトリに掲載することはできますか？

A 著者は学会の許諾を得ることなく、著者または著者が所属する法人その他団体のウェブサイト（機関リポジトリを含む）において当該著作物を掲載し、公開することができます。

きます。

Q 15 学会誌に掲載された私の論文を出版する私の本の一部として掲載したいのですが、手続きを教えてください。

A 自らの論文を他の著作物の一部として利用する場合は学会の許諾を得ることなく、利用できますが、初出が当学会誌であることを明記してください。

Q 16 その他、論文の投稿に関して質問・疑問・意見等（「質問等」）がある場合はどのようにすればよいでしょうか

A まずは事務局に照会・提出ください。いただいた質問等は事務局を通じて編集委員会に上程され、そこで審議されます。審議の結果下された決定に基づく回答については、投稿者は従う必要があります。投稿規程やこのQ&Aに詳しく書かれていない事項についても、必要に応じて編集委員会が逐次審議し、決定します（決定の内容を投稿規定やこのQ&Aに掲載しない場合があります。）。投稿者からの質問、意見等については、編集委員会の審議の結果を事務局よりお知らせします。編集委員会の決定（回答しない旨の決定を含む）に対して異議は認められません。